

4年

国語

俳句を楽しむ

4年 組

名前

①②の俳句を五・七・五に分けて、バラバラにしました。①②の意味に合うように組み合わせ、()に俳句を書きましよう。

一羽かな

桐一葉

日当たりながら

つぶてのごとき

秋空に

落ちにけり

「つぶて」は投げる小石のことだね。



① 桐の葉が一まい、秋の日の光に照らされながら落ちた。

(桐一葉 日当たりながら 落ちにけり)

② 秋の高い青空に、すっと小石を投げたように、ただ一羽の鳥が飛んでいくなあ。

(秋空に つぶてのごとき 一羽かな)

おまけクイズ ()のヒントを見て答えを漢字にして□に書きましよう。

① みきくけこ

(か行の何が 何い?)

鏡

② いむ

(五十音表 一文字後ろ)

梅

③ しりくこましり

(「しり」とり 「く」けし)

熊

④ すかいず

(五十音表 一文字前)

塩味

② ①〜⑥の()に当てはまる言葉を から選んで書きましよう。

① サッカーの試合で、ゴールを決めたリクは(とくい顔)だ。

② ミオは作文を書きたいのに、なかなか文が(まとまらない)。

③ テストの点数が悪かった きんたは(うなだれて)いた。

④ レンは飛び出してきた ネコを(とっさに)よけた。

⑤ クッキーをつまき焼けた かりんは(うれしそうに)ほほえんだ。

⑥ 実験に失敗したはかせは、理由がわからず(首をひねった)。

とっさに・うれしそうに・とくい顔 首をひねった・まとまらない・うなだれて

